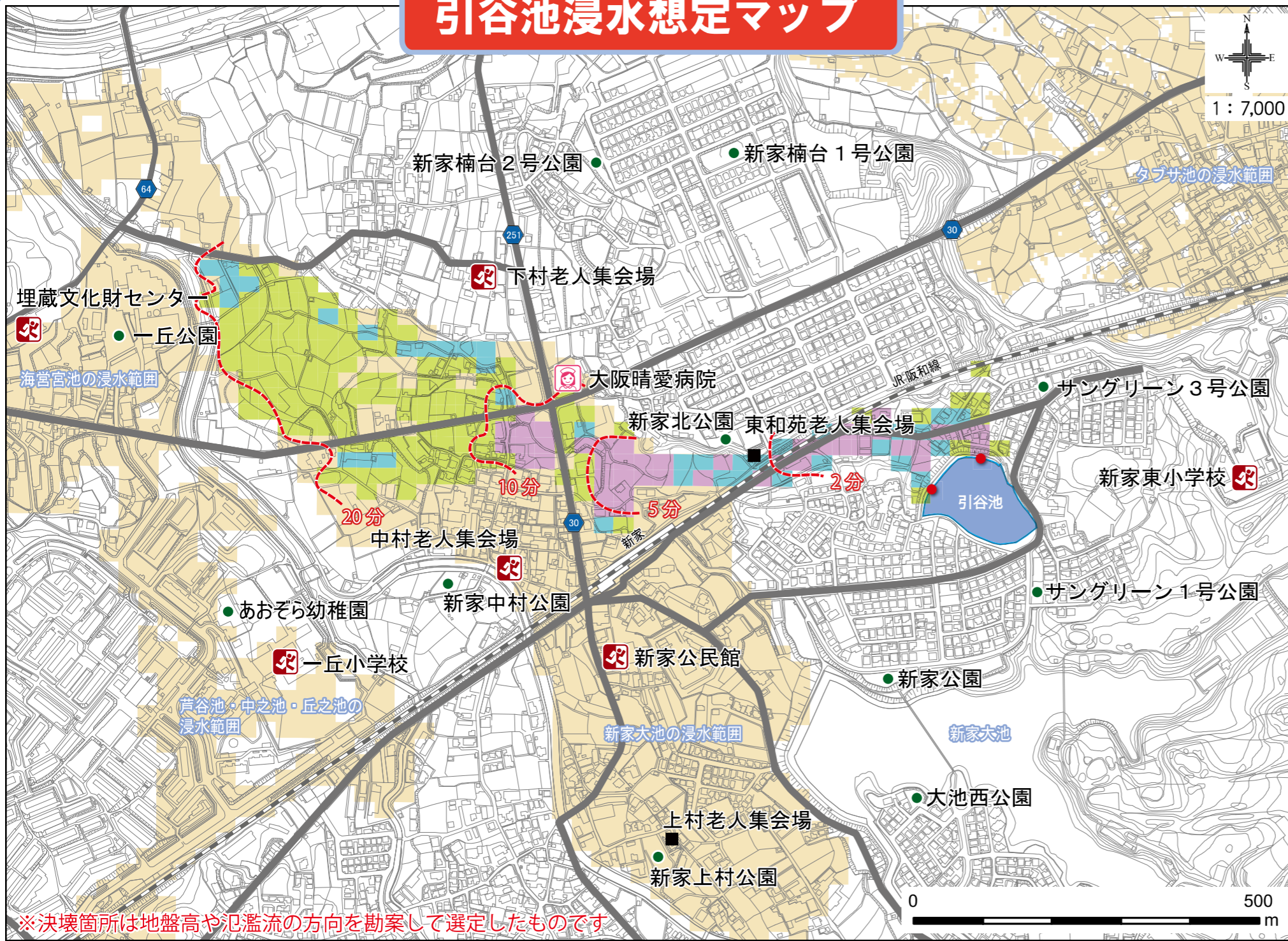


引谷池浸水想定マップ



※決壊箇所は地盤高や氾濫流の方向を勘案して選定したものです

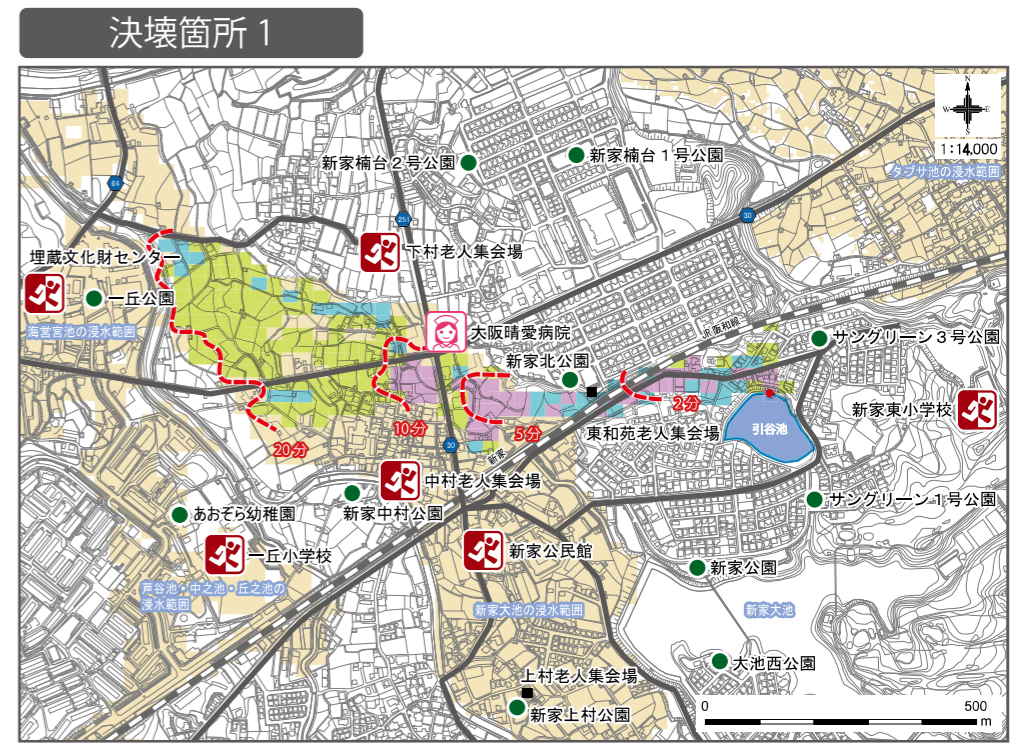
引谷池浸水想定マップは、ため池の北側と西側の堤防が決壊した場合を想定し、2ケースを複合した浸水区域と浸水深、浸水が到達するおよその時間を表示しています。

したがって、左の図は、1箇所の決壊で浸水する範囲を示すものではありません。各ケースごとの浸水想定区域は、下の「決壊箇所ごとの浸水深」を参照してください。

なお、地図に示した浸水想定区域以外でも浸水が発生する可能性がありますので注意してください。

いざというときには、雨の状況や気象情報、災害情報などに十分注意して、安全に避難しましょう！

決壊箇所ごとの浸水深



緊急連絡先

名称	連絡先	名称	連絡先
泉南市役所	072-483-0001	泉南警察署	072-471-1234
泉南消防署	072-485-0119	N T T 故障係	0120-444-113
泉南水道センター (平成31年4月より)	072-482-6551	関西電力岸和田(営)	0800-777-8025
泉南市下水道課 (平成31年4月より)	072-482-5005	大阪ガス	ガス漏れ 0120-3-19424 総合受付 0120-3-94817

指定避難所・指定緊急避難場所

避難所名	連絡先	避難所名	連絡先
埋蔵文化財センター	072-483-6789	下村老人集会場	—
一丘小学校	072-483-1153	中村老人集会場	072-483-3400
新家東小学校	072-482-3630	新家公民館	072-483-9314

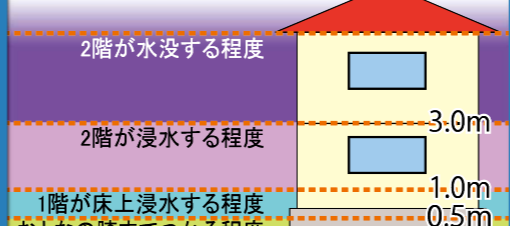
凡例

- 指定避難所・指定緊急避難場所
- 病院
- 一時避難場所
- 要配慮者施設
- 決壊箇所
- 主要道路
- JR阪和線
- およその浸水到達時間
- 周囲のため池の浸水範囲

浸水深

- 3.0m以上の区域
 - 1.0m～3.0m未満の区域
 - 0.5m～1.0m未満の区域
 - 0.5m未満の区域
- ※ 0.03m未満の区域は省略しています

浸水深の目安



ため池ハザードマップ

避難する場合は、必要な情報を確認しましょう

ため池の異常に気づいたらすぐに連絡・通報！

泉南市役所 072-483-0001	泉南消防署 072-485-0119	泉南警察署 072-471-1234
-----------------------	-----------------------	-----------------------

私たちの行動

正確な情報の収集

ラジオやテレビのデータ放送(リモコンの@ボタン)などで正確な情報を収集。周りの様子にも注意！
市の防災行政無線からの情報にも気を配る！

正確な情報を得るために「**おおさか防災ネット**」に登録

皆様の携帯電話のメールアドレスを登録していただくことにより、災害発生時の避難勧告・避難指示など、最新の防災情報を携帯電話で受け取ることができます。
右記のQRコードを読み取り、空メールを送信して手続きを行います。



市からの情報

避難準備・高齢者等避難開始
避難勧告・避難指示(緊急)が発令される可能性がある場合、前もって避難の準備をする段階。

避難勧告・避難指示(緊急)
降雨量などのデータを総合的に判断して、危険と思われる地域に対して市が発令します(避難指示(緊急)は避難勧告よりも拘束力が強い)。

要配慮者の方は避難
要配慮者の方など避難に時間を要する方は避難を開始します。非常持出し品のチェックなど避難準備をします。

避難
人的被害が発生する可能性が高まっています。避難指示(緊急)が発表されたら、直ちに避難しましょう。

我が家の防災メモ

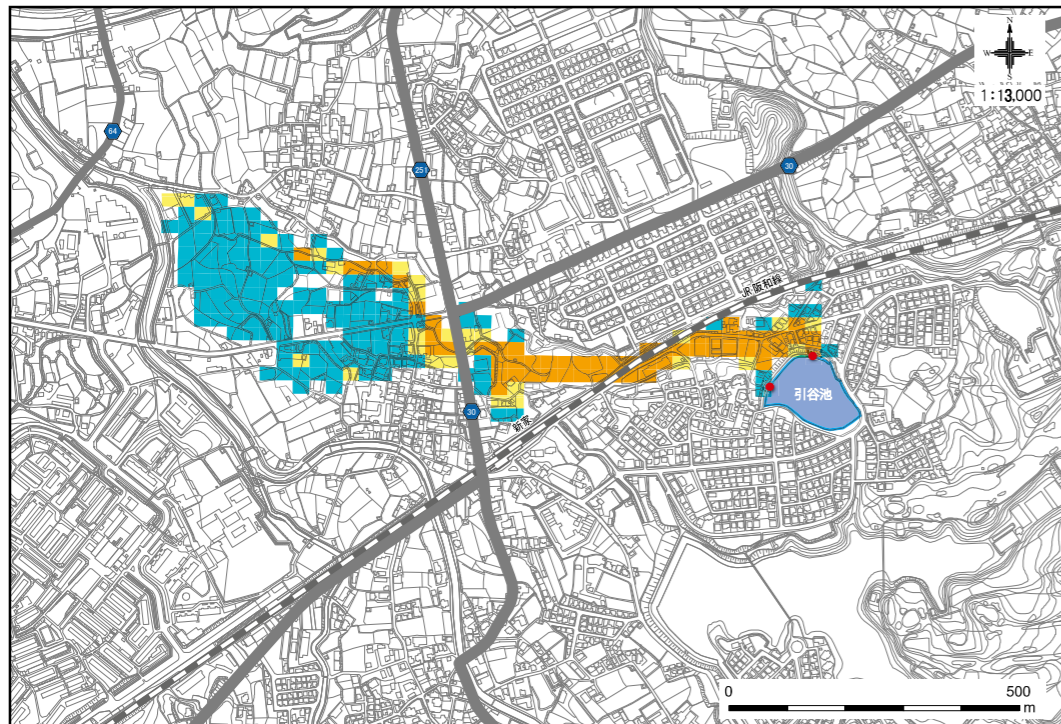
災害時に備えて、家族などの連絡先を確認しておきましょう。また、非常持ち出し品の準備をしておきましょう。

我が家の避難場所			
家族の集合同所			
緊急時の連絡先			
家族の氏名	生年月日	血液型	携帯電話/会社・学校の連絡先
メモ			

非常持ち出し品チェックリスト

- 水
- 食料品
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 医療品
- 現金・貴重品
- 衣類(雨ガッパ・下着等)
- ろうそく
-
-

浸水後の避難困難度について



氾濫シミュレーションにより算定された各地の浸水深と流速から、避難する場合の歩行困難度を整理しました。

凡例

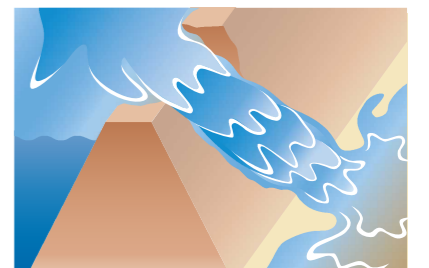
- 破堤点
- JR阪和線
- 主要道路
- 歩行不可能
- 歩行困難
- 歩行可能

大雨、大地震は要注意!!



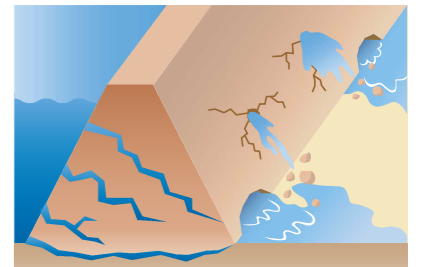
大雨のとき

ため池の堤体には貯留水が浸透流としてしみ込みます。水がしみ込むと、堤体の土粒子の間に水が入り込むことによって、土が移動しやすい状態になり弱くなります。また、流木等が洪水吐の断面を閉塞させると、水が堤体を越流しやすくなり、上記の状態に加え流水そのものによって堤体が浸食され、非常に危険です。豪雨は、この状態を促進する方向に作用するために、ため池が決壊する可能性が高まります。



大地震のとき

大地震では、ため池の堤体が異常な力を受け亀裂が生じることや、地震の液状化により、決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤体の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊することがあります。



気象警報・注意報発表基準

大雨・洪水 注意報	大雨・洪水 警報	記録的短時間大雨情報	特別警報
雨によって引き起こされる災害のリスクを表面雨量指数・流域雨量指数で表現し、数値が基準へ達したかどうかにより注意報や警報を発表します。	発表基準の詳しい説明は右のQRコードにアクセス！	1時間雨量 100mm	数十年に一度の大雨が予想され、降水量が警報基準を大きく超えるような大雨

雨の降り方と降雨量

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量 10mm以上～20mm未満	1時間雨量 20mm以上～30mm未満	1時間雨量 30mm以上～50mm未満	1時間雨量 50mm以上～80mm未満	1時間雨量 80mm以上
ザーザーと降る	どしゃぶり	バケツをひっくり返したように降る	滝のようにゴーゴーと降り続く	息苦しくなるような圧迫感。恐怖を感じる